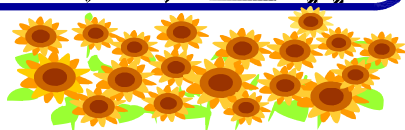


ひまわり通信

いのち輝く子ども



№ 4 平成 17 年 5 月 12 日

新潟市立東青山小学校

児童数 650 人

(231)9611 fax(231)9623

<http://www.niigata-inet.or.jp/higashi/>

E-mail h-aoyama@niigata-inet.or.jp

確かな学力の定着を！

P T A 総会でもお話しいたしました、「いのち輝く子ども」の育成を目指し、三つの柱を中心として平成 17 年度の教育を推進していきます。

その一つが「学力の向上」です。基礎的な知識や経験のないところから新しい考えやアイデアは生まれません。無から有は生じないのではないかと思うからです。問題を解決したり、未知なるものを創造したりするには、それを可能にする基礎となる知識や経験などが必要です。そのためにも、基礎となる学力の定着を目指し、日々の授業の充実を図ることが大切であると考えています。当校では、授業の中で子どもたちがじっくり考えたり、繰り返し練習したりする時間の確保するとともに、右記の二つの視点から確かな学力の定着を図る指導を進めます。

例えば、今年度新たな取組として、家庭学習の習慣化を図るために「家庭学習の進め方」についてプリントを作成し配布しました。「学年 × 10 分」をめざして、家庭学習の定着を図っていきます。その外、少人数指導等様々な取組を実施しますが、取組に当たっては、全教職員で課題を共有して推進します。また、職員研修では、各教科の学習において、個に応じて育てたい力を明確にし、身に付けた力を駆使して問題解決できる力の育成を目指した授業改善に、全教職員が取り組みます。

- 基礎・基本の確実な定着
 - ・ 学習意欲を高める指導方法の工夫
 - ・ 読書活動の習慣化（週 3 回の朝読書）
 - ・ 朝学習の実施（週 2 回）
 - ・ 家庭学習の習慣化（20 分～60 分）
- 個に応じた指導の重視
 - ・ 少人数指導の実施
 - ・ 共に学び、高め合う活動の推進
 - ・ 課題別、興味関心別学習の設定
 - ・ 個別指導、繰り返し指導の充実

< 平成 17 年度

東青山小グランドデザインから >

【参考】

家庭学習時間(5・6年生児童)

	(%)
全くまたはほとんどしない	6.1
30 分より少ない	24.3
30 分～1 時間	42.8
1 時間～2 時間	21.5
2 時間～3 時間	3.8
3 時間以上	1.6

< 平成 16 年度新潟市学力実態調査から >



< 朝読書の様子 >

【校長の独り言】

5月の連休を利用して、若い頃お世話になったAさんの家（山間部に住まいがある。）へ見舞いに行った。Aさんは、昨年中越地震に見舞われ、現在仮設住宅に住んでいる。いろいろな話を聞いているうちに、私たちが想像できないような苦労や行政の壁にぶち当たっていることが分かった。まとめてみると、次のようなことであった。

- その1：大きな音とともに、ドスンという大きな縦揺れが来た。家から飛び出すと、前の山が大きな音を立てて崩れていくのが見えた。余震の方が揺れが大きかった。家や車の中では怖くて眠れなく、その日は道路に寝た。避難命令はなかったが、自主的に集団で避難した。
- その2：田圃は地割れで、改修しないと米作りができない。2世帯以上にまたがっていれば改修費用の公的補助があるが、修理の必要な田圃はAさんの所だけなので、補助を受けることができない。何とか、食べるだけの米だけでもとれるようにしたいが、それも作れるかどうかまだ分からない。これから米作りを続けていけるかどうか不安である。
- その3：住宅は、改修・新築しないと住めない。中古住宅を探してみたが、需要が多いせいか見つからない。他の場所で新築しようとしても、退職しているのでローンが組めない。今の場所で改修や新築しないと公的補助はない。仮設住宅は2年間の期限付きである。どこに、どのように居を構えたらよいか未だに悩んでいる。
- その4：仮設住宅は冬場の結露がひどく、寝ていてもポタリポタリと雨漏りがするような状態でとても寝てはいられなかった。壁が薄く、隣の物音がよく聞こえた。とても狭いので、必要最低限のものしか入れることができなかった。
- その5：今年は特に大雪であった。ボランティアの方が除雪に何度も来ていただいて、とても助かった。人間の温かさが身にしみた。

話を聞いていると返す言葉も見つからなく、「何かありましたら連絡下さい。必ず手伝いに来ます。」と伝えて、その場を後にしました。

被害に遭われた皆様方に、改めてお見舞い申し上げます。

